

Nº1051.BASTOS.29 de JUNHO de 1970. O PROGRESSISTA REG. Nº 26695 SÃO PAULO. A.P.

ビーストヌ週報

第1.051号
昭和四十五年 六月二十九日
発行
Director Koiti Mori
Redator Shion Oda
Rua Pres. Vargas 188
C.Postal 112
Fone 4000
BASTOS C. P.
Anual Cr. # 18.00
Adian

霹靂 26

生花芸術論

生花は芸術だと称する説は、近代生花講師から発しているが、美術評論家は大体これを否定しているようだ。絵画が芸術だといつても三文パン画や、団扇の絵まで含めて芸術とは言わないだろう。生花に於ても創作を重んじて独特の新技を造り出すものは芸術性格を帯びたものと云えるだろう。以下芸術といわれるものを列挙してみよう。

文学作品

文学の場合には創作へ短篇長篇を問わず、短歌、詩、短句などを範疇に入るが、俳句は第二芸術だという評論家もある。川柳は第二芸術とも云われていない。一口に文学といつても俗悪低級なもの除外されるのだろう。

美術・絵画・彫刻

美術の場合、洋画、日本画を中心としてやはり創作が主張で、模写模造は排斥される。併画は芸術味ありとして賞賛されるが漫画やパン画は中にはいらない。木彫、石彫、銅彫は最芸術豊かであるが、石の地蔵や、銅像はよほどの作でないといふ。運慶、湛慶の佛像は一流の芸術品といわれる。版画やエッチングにもよいものは評価されているが、一歩あやまると俗悪化する。

工芸品・陶器

同じ美術品でも、工芸品は、いかに立派で実用を目的とする理由から、芸術とはいわないようである。高度な作品には芸術性が高いといふ表現をしている様だ。たとえば、陶芸にしても、漆器、貴金属宝石の細工、織物などにしても、すばらしい作品が多いが、高価だというだけでは芸術品とはいがたいのである。近代の陶芸家作になる器物には目を憚らず様々な逸品があり、芸術品ではあるが、高度な工芸といふ階級である。やはり芸術に通ずるもののあるのは勿論である。

音楽は芸か

各位

音楽は、トッカしている間だけ鑑賞時

Hotel e Bar Restaurante PRIMAVERA

食堂 森川 悠一
ホーテル プリマヴェーラ
電話 九二

プログレッソ第三小学校
同窓会

日時 来る七月十九日 午後七時より

場所 阪東食堂
会費 十コントス

○これ迄数回にわたり同窓会を催し旧い友情を呼び交し楽しく精神的にも収穫が多かつたようですが、今年も多数心の友が集つて一夜の懇談を尽す計画を立てましたので御縁合せ御参加下さるよう御案内申上げます。
○申込は七月十五日迄に

発起人 南伯産組 水野幸作氏へねがいます

C.P. 九十一

古賀澄夫、古賀一敏、水野幸作
梅山喜三郎、大西利子、篠崎清美

毎度ありがとうございます
御宿泊と御食事には当店で
御宴会・御会食・御仕出し
日本料理・フランス料理
シネマのお帰りには熱もの料理
御家族づれの御食事に
御利用下さい



お・し・ら・せ

毎日新らしい魚

鮮魚

いろいろあります

二一六四番へ御電話下さい

多少拘らずリンクバして

お届け致します。

PEIXARIA HONDA
MERCADO FONE 264

カーナメント用の魚、御注文下されば
当日盛りつけまでいたします

メルカード内

本多鮮魚店

電話自宅二一六四番

其の他

でも、あとにのころ感激が強いので、感動の高い芸術とされている。作曲家が楽譜を残しているので、演奏者はいつでも

同じ曲を再現することが出来る。今日はジスコやグラバドルに古典曲でも吹き込んでおくことも可能だ。高級なオーケストラも、これを指揮するコンダクタ・も、これをふくめて芸術とよんでいる

ようである。

では、独唱歌手の歌は芸術であろうか。たとえば、美空ひばり、橋幸夫等は芸術家だろうか。芸能人とは皆思つてゐるが、芸術家とは云わないだろう。少々下手でも合唱団は芸術性があるといわれるのも不思議といえば不思議である。故三浦環が芸術家といわれても、これは不思議ではない。あれだけの芸術的重量感をえた歌手のことは百年に一人も出ないものだそうだ。

流行歌手は音楽芸術の対照にはならぬのであろうか。芸術論もここまでくると誠に査定がむずかしい。スポーツの如く記録で決定するものでないので、判定もなかなか容易でない。だが流行歌は芸術とはいわれまい。

日本の三味線は外国の音楽家から賞讃はされるが、世界的な楽器として登場出来よう。その国の音曲として、その国の

友だけに判つてもらい、愛される口力

ル音楽という型であろうか。

演劇、舞蹈、なども芸術性の追求が叫ばれ、高度な演出に対しても、芸術の讃辞が贈られるが、田舎廻りのドサキ居や、アチャラカ踊辯をふくめるわけにはいかぬ。

写真には芸術写真というのがある。肖像、風景、静物などで、頗る芸術性の高いものを指していよう。シネマに於ても有名な史実を芸術的に取扱つたものにはよい作品があり、芸術品として推賞される。

生花は芸術か

以上のべたような観点から生花を見るところ、生花は古くから日本独特な風格を備えた一種の技法であるが、今も尚家元とか階級とかいう制度を嚴守し、保守的な枠を作つていろいろ点が、近代芸術感覚から疏外される傾向を持つのではないか。生花はどうぞし欧洲、ひろく世界にひろがつて行く性格を多分にもつてゐるが、制度にこだわつてゐるうちは世界的に生花は今の眞日本独特の芸術である。絵画や彫刻は人間の智慧を働かせた造形

美だが、自然の植物花卉を人の審美眼で捉えて知恵と工夫を働かせて究極を追及する手法として芸術であろう。たとえば評論家連が生花を芸術の範疇に入れることを拒否したところ、次第に高技を著積して行けば、ある限界に達するであろう。この時空間に生み出される立体美は頭脳と手先の連絡によつて生れる最高の美である。コロリードの写真によつて長く保存して鑑賞に供えることが出来るであろう。

一つ欠陥といえは、作品をそのまま長時間保ち得ないこと、前述のような現存する流派家元・師範などの制度が非近代的で、囃小遊芸の底を脱出し得ない制度と似たところがある。又技術習得する上に於て、形式に捉われすぎて自覚の足りない生徒に低い観念的な技法で縛りつけ、シプロトマの制度などで金儲けに走り過ぎ、競税行為をする家元を出したたりすること、芸術性とは別な次元で冷たい眼で見られたりすることは惜いことだ。

生花便

こんど京都大覺寺へ旧嵯峨御所華道総司前野口青楓（華道芸術学院理事並教授権法眼）が辻井博州（芸術学院理事並教授権法眼）が外務省文化使節の肩書きで六月六日着伯聖市リオの外十四日アラサツバ、十五日オルース、十六日バストスに来られ、展覽、講評などなどあつた。バストスでは嵯峨流未生御流総司長裕で高弟石橋敏子、本田種芳園その他多くの閨秀が集つて盛大なデモストレーションがあつた。野口兩使節は会場正面のメーティアで次々と二十数種の生花実演を見せたが、おどろくべき早さで、何ひとつ注けるのだが、正面から見学している人達の方から見ると、それが正面となるわけで、その達者な技法には一同舌を巻くばかりであつた。広い会館の左右と正面一ぱいに展覽された生花は華美に尽しがたい壯觀があつた。正面席には師範格以上の作品がずらり列んでさすがに印象にのこるものが多く、生花芸術とういふ言ふほどの氣迫と気品が充ち満っていた。

そこにある花材をとつて型の如くさしたるものでなく、作者の脳裏にデッサンし出で絵画である。この一つ一つも作品であるが、數点を一群として合成した作品本で一流といわれる人の仕事（写真による）の中に、さすがだな、と思われるものもあるが、ごんどの展覽で見たものでは、まだ過度期な感じで、これが芸術品とし

かざりものトツコ

いろいろおもしろい形あり

生花用トツコ（オブシエ）

化石Petrification貝・魚・木の葉

入植祭レンブランサ用

だるま・むぎ 玉子型

六月一ぱい

夜間営業 夜十時まで

ダイヤのゆびわ
眞珠の首かざり
シヨイア いろいろ

時計 セイコ・オリエンテ・テクノス
その外 ソファカーマ・コルシヨン・デ
モーフ いろいろ
グラバドール（録音機）
10%より30% デスコント

アデマルデ バーロス街二一三
タカミ 柴田時計店

電話 一五四

帰国挨拶

母 谷口たけよ儀去る五月六日

コンゴニヤス飛行場よりバリグ機にて帰国の途につきました。
文部北海道紋別郡西興部村の家族のもとに参りました。

出発にあたりましては皆様より御丁寧な御餞別等いただき誠にありがとうございました。

既に安着の報も参り宣しく御礼申上げてくれとのことでございました。

ケロリア工区婦人会様
バストス仏教婦人会様
生長の家白鳩会様

名位様

谷

ロ

泉

辻井博州} 生花侵節歓迎会計報告

支出の部	金額	収入の部	金額
お土産代	12000	寄附金	5000
招待者歓迎会費用	22000	フフ拓製糸様	10000
生花代	22600	鶴原裕子様	10000
サンパウロ電話代	13630	小沢淑子様	10000
晨ノバウロオーブス代	10575	石橋敏子様	10000
写真代	16000	太郎田みどり様	10000
細工物	10000	守越まつ子様	10000
自動車御礼(黒煙本屋守越)	11000	本郷伊藤幸子様	10000
宿舎御礼(石楠)	10000	板本守佐美ト子様	10000
先生御礼	50000	平井喜見三郎様	10000
打田さん御礼	30000	采原ヨシ香様	10000
吉田館管理人	10000	堀尾原島賀信子様	10000
カフュ共の他会場にて	16000	豊川千尋志介様	5000
雅費(紙代其他)	1350	池田憲松様	3000
		古出一子様	3000
		千丹尾根枝子様	3000
		小野菊枝子様	3000
		西ヶ迫房枝様	3000
		グロリア区生花会員一同様	3000
		オカリース生花同好会様	3000
		前山さんより	2000
計	176574	早川さんより	2000
差引剰余金	42926	合計	219500
合計	219500		

19-6-1970 バスト生花同好会
上記会計報告を兼ねて御協力下さいました皆様へ厚く御礼を申上げます。

宇佐美食堂様より、勝浦モジ岡田酒類等の昼食及び夜食の御用當を御寄贈致しました。重ねて御礼申上げます。

「娘のかわい子」とか、「娘の娘をやせ」など
「娘のかわい子」など、「生
花の方に歌ふ歌がれるものや歌じた。
○どの新道も道はむわしご・歌うたがえ
で歩けば身たる遊戯に興味をもつて探求すれば、
生花も研究として鑑賞に値するであろう。

参考

本紙セミーハンヘ植祭(原書
由外み受けアビーナリ
シテ)

移住祭中の1回目鶴供養

樂音

汗形様へ老には耽溺しない事

未の七四五四(四)午後七時
兼體正月迎初水狐
湯所浴衣席題

新入歡迎

10

世界蹴球選手権

帰伯御挨拶

私儀

六月二十一日はメキシコで行われたコツバデムンドヘ世界のタフサ一優勝戦が午后二時に始まるというので、テレビの前はどこも大勢の人があり。柳浦バーカーでは店頭いっぱいにサービスした処、ア道人が一ぱい・ブラジルチームの得点が重なると、追々叫奮がつのり、ビーヴァ、ブラジルの叫びが上がる。四時半4X1でブラジルに凱歌が上ると、さあ大変、それまで散發的だつた花火は、物凄い音で爆発し、耳をつくさんばかり、その上ルアを廻るクルマがだんだんとふえ、ブラジル国旗を押し立てて、ブラジル万歳を叫びつつ、一大デモの大行列となり、夕刻暗くなるまで大騒ぎだつた。夜ろになると、誰が音頭をとつたものか、会館前に集る男女の群、十時から祝賀の大バイレ、只もう誰彼の見界いもなく、カルナバルのよくな興奮バイレであつた。

フットボール好きのブラジル人がよろこぶのも当然、通算三勝の世界のカップを取り切らになつたのだから、こゝよりれしいことはあるまい。それにしても、ブラジルと優勝を争ふたイタリアも、もし勝つておれば、通算三勝だつたから、引くに引けない背水の陣だつたわけだ。そのイタリアは、ブラジルに鎧袖一触ふつとばされだが、六月十八日の対西独戦の準決勝では4X3と、延長戦て一点勝越してはいるが、すいぶん苦戦している。彼を三点差で圧勝するとは、ブラジルの強味は格別のものだつた。準決勝のブラジルの相手はウルガイで、かつて苦戦を味つたこともあるが、それを3X1で敗つていて。外のスボーツではそれほどでもないが、こと、サッカーにかけては、さすが国技だけあつて見事なものである。サンパウロ、リオあたりの祝賀気分も、兩三日中にわかるであろう。(ヒロ一六、二二)

□ がひあがる
○ ブラジルのサッカーチームが勝つてくれたおかげで、三日も連休がありがて△じようだん云うねえ、三日も野菜うり休んで見ろ、こちどら、千上らあ、どうか、て口がよ。

去る三月二十日母県訪問団へ十三名に加わり訪日の途につき母を伴い宮城県の故郷を三十五年振に訪問し、万博見物など予定の旅行を了え、去る六月二十日、ビラコツ、ホスに帰着いたしました。留守中に一家族の者が大変御世話に相成り厚く御礼申上げます。帰伯御挨拶まで。

一九七十年六月二十五日

各 位

カスカッタ区

小 野 義 種

第一回俳句研究会

六月二十一日夜

恋せねば居られぬ人よ寒椿
湯治客異人はかりや桔野バス日向ぼこベンチの乞食銭数え
日溜りの馬糞なり居り冬の観三人寄ればペレーの噂日向ぼこ
州境の河の向うは大桔
桔野行く夜道の灯近寄らず孫の守しつつベンチに日向ぼこ
長生々今日もまだ居る冬の観

○「恋せねば居られぬ人よ寒椿」札子作

○「恋せねば居うれぬ人よ寒椿」札子作
△「いや、そうじやない。しよう中恋をしていなければ居られない人、そういう多感な人
があるといのだよ。ややこしいな」○「そりや、寒椿の季感とマッチしないでは
ないか。作者にお伺い致しますが○の方です
か△の方ですか」△「ついその人には魅了されてしまうという
心中に描いた異性だろう。寒椿の清楚な美しさ
を見ると、心中の人物が浮ぶ、表現された
限りでは問題の残る作だ」

□ 「亭のことといつていろいろだよ……」

卷之三

ラジオ・ピアノ・金庫・タイプライタ
扇風機（ヴィンチラドール）ラジオトランジスタ
冷蔵庫（シェラティラ）洗濯機（マキナデラバローパン）
その他なんでもあります

アラム語の文書

カルサ市・ルア、エーテロペンテアード
一一一一番

本店 八
番 兄
水 満
會

代理人
宇佐美示

電 話 位
自 宅 店 美
一 一 一
二 四 五
五 六 番

九七〇年五月十九日マリリア旅送
わかりやすい仏教のはなし (7)

瀨
辺
濶

辺
潤

先般から、お萩迦様のお生まれになつて、余命いくばくもございません。折角、世を救う仏が近く成道せられることがで、たゞちに七歩、お歩きになつて、天上きないと 思いますと、悲しさにたえられ天下唯我独尊と世界に宣言なさつた赤ちませぬ。残念でしようがありません」と

帰りになつたのであります。お帰りになつて、一日、二日たつた時、お父上の淨飯王様は、当時の印度で普通行われておりましたように、阿私陀という仙人を、山からお呼び出しになりました。太子の行末を占なわしめられたのであります。阿私陀仙人は、謹んで太子のお姿を見つけることが出来なかつたからであります。おりましたが、どうしたものか、やがて大王の出現に悲しまないものが、仏陀、て悲しそうに泣き出しました。淨飯王が世尊の出現に逢えないといつて、王様の怪しんで、何か不吉の相でもあるのかと前をもはばかうず涙するということは、お尋ねになりますと、仙人は「大王様、可哀でしようか。

そうではございません。この太子は、全印度を統一する大王となられる相も拜すし、教育を行つて、経済生活の繁栄と文化の向上を計り、道徳を高めて、住み良き、このお城を捨てて、太子の位も捨て、い社会を作ることが目的であるようであつて山に入り、一介の沙門、修行者となリります。そのため人々は、国に善政が航ては、大覚者、仏陀、世尊となつて行われることを第一に望むのであります。世界中の生きとし生ける者をお救いになが、その善政を望む人々の、その人それ思うに、政治というものは、産業を興

BALANÇE de RECEITA e DESPESA ao HOMENAGEM ao SR HERMES GOMES BARBOSA		会計報告(元ツバノ伯銀支店長ルネス、ゴーニスブルボサ氏招待シラス)会	
DESPESA	(支 出)	RECEITA	(収 入)
COMPA DE PRENTOS PAGO A	VALOR 金額	CONTRIBUICOES	VALOR 金額
REROOARIA SHIETTA記念品	8 0 0 0 0		
PAGO AO RESTAURANTE MORIKAWA			
森川へ 告費 一切支払	7 0 0 0 0		
PAGO AO JORNAL PROGRESSISTA			
COMPA D0 1 ALBUM	3 0 0 0		
IMPRESSOS	署名用記念アルバム 招待印刷費	9 0 0 0	
DESPESAS DIVERSAS	雜書	6 0 0 0	
TOTAL	2 0 0 0 0		
		TOTAL	1 6 1 9 0 0

25 - JUNHO - 1970

CUMICAO TOHORU NISHI (発送人) DR. HIRAYUKI KOBAYASHI DR. YASSUHIKO YAMANAKA HARUJI SAKITA

西 徹 SHIGEYUKI TOYOSHIMA

豊島重幸 水馬昭二 森下義春 松井耕正

SHOJI MIZUMA YOSHIHARU MORISHITA

御 謹

禮

此の度び当院での鶏供養法要發起に際し全バストス養鶏家の御謹同を得
ましし、おる五月三十一日盛大裡に勤修されましし、「ロトリの里バス
トス」として開業ある催しだありました。

此の行事に当りまして施主養鶏家各位は多額の布施を賜わり、御参詣の
御にも懇意、献花、御供物を戴れ、名前には演説金の景品などをいた
だれ、實にありがたく御礼申上げます。

尚當日は灌仏会演芸会などを執行しました為めか、出費も嵩み、総額
一九五六三二クリゼーロスを要しまして残金は勝手乍ら寺院運資金に引
き出し(新に児童、青少年、日語教育に充當方針)として本会計に繰り入
れましたので不悪御諒承下さい。

茲に全バストス養鶏家並びに信徒の方、御奉仕戴きました御協力者に對
して衷心から御礼申し上げます。

一九七十年六月二十日

バストス南米本願寺 主 管 小 山 根 林 志 三 喜 郎 郎 市 喜

各 位 様

(ペーパー、仏教の話)

自身、人間の全存在ということの解決にあります。が、人間それ自身が解決できなければ、手が届かない様であります。もう一れば、実は、日々起つてくる問題の根本を申しますならば、人間の次から次元的解決とはならないのです。いくと問題の解決には寄与するものがあるのう文明が進み、文化生活ができても、人であります。が、問題を起す、人間それ自問の抱えていろいろ根本の問題の解決にはな身ということになりますと、政治的解決らないのであります。

鵠供養法要寄進者芳名

三百五十九

卷之四

三十

百
花
學

五十九

烟极大前佐松篠條高武松宮平真星谷木藪藪吉山柔石鶴宮真萩松上萬小若太岩池山小小水水小山豐信
中垣倉山藤浦崎崎橋田下井木努中口田内田中原橋下木原井村野野郎橋田田橋林林澤根島太
留畠太梯次義一八英五三才清重下金与久道博三治之弥輝元八義耕田滿武博正平將三喜
郎市郎雄男茂郎侍郎郎享門郎保美文功元夫吉郎郎進行門男郎三郎進種一衛雄巖一知名行久彰男郎市茂

荒大竹鶴中材狩茂吉矢平原大西渓嶽興矢馬藤戸荻渡池原宮古東山高谷古平山織信本鶴無伊清及
名内浦谷上岡嶋井口河見城水島湯林原部田久賀崎口賀本田太田藤家川
井門秀上立田佐義保野井千正義名熊
深政時三一克金有吉内政光利幸俊延典喜治佛土準満光し恵一三寿八
美利夫雄司章男已吾利夫一行雄雄國生衛威東一助郎晴喜知誠吉勉重実馨治づ子郎雄氏郎郎

懇意上り御供物品、景品等御進納の分は本堂に
明細掲示致しました。
バストス 南米本願寺

バストス南米本願寺

例えは、生ある者は年をとつて行かなければならぬないとか、生き身を持つてれば、病気が、或は災難が、いつ犯すやうな事柄が解決していかなければ、たゞ経験をとえ、一時の平穀はありましても、全くつんできたので、どんな辛い仕事でも決意しきった幸という状態に至ることはむずかしいといわねばなりません。その根本の問題を解決しようと思われるのが仏法であります。

阿私陀仙人は、この解決のために仙人となつても解決しないまつたが、仙人となつても解決して下さる仏陀が得なかつた問題を解決して下さる仏陀が、今出されたとする時、死んで行かねばならんので、なげき悲しんだと諦解せらるるのであります。

州立中学工スクルソン出発

「中学四年生の行事工スクルソン団は、六月二十八日、バストス出発、サンパウロ、リオ方面の見学旅行に出発した。もとは十数コントで十日間団体旅行ができるものだったが、今年の費用をきいてみると、一人前三百コントもかかり、外に小遣二百コントも持たせちゃうなくなり、父兄の負担も容易でない。しかし、少年少女たちの実社会見学、未知の土地を旅行する興味は、単なるインテレッサではなく、将来永く印象に残る所である。そこで、楽しい想出となるもので、金銭で計算できない程の収穫あることも見のがせない。

近來各地の中学校でも、工スクルソンが流行した模様である。

新デレガード着任

去る五月十一日付本誌でウニオン工区木口正功氏の長男・木口明則(32)氏が、バストス警察署長に就任され、五月末日の頃赴任の予定と報じたが、都合で少々おくれ、六月二十二日着任された。

それ迄ツパン署より代理が派遣されていたが、引継を終了した由。

下段よりづく歩合作農が、この農場に入つてした。水木、福井、吉田、小林氏など、の家族は、とくによく歩合作農として協力してくれた。カショエーラ農場が機械化への第一歩を踏み出した翌年、カショエーラから西北八キロの地点にある、ラゴア・フェイ

海外に光を掲げし人

前田常左衛門伝

彼の子供達は父母の意志をそのまま受けたが、幼い頃から、身をもつて経験をとくもこの事実を痛切に感じていた。

三日もたたないうちに、長男の隆之はす

トカリ運転技術をのみ込んだ。それから今まで六頭立ての牛で引つ張つていた巨木の切り株も、一ペんに引きずつていた。

こうして彼は、一九四八年七月十一日に、生涯またとない喜びの日を迎えた。

花嫁は、かつて彼がこの農場に借地農業者として入り、大困難に直面したとき、中

一郎の土地四十アルケール入手し、翌四七年に、はじめて大型トラックを購入した。また彼は、これより先き、このカシヨエーラ農場の中央地點に、三派な住宅を新築した。

その後、彼の仕事は順調に発展し、一九五〇年には、米国製のキヤビタールD14型トラクターを購入した。価額は三百五十コントといえど、百アルケル以上の土地を、右から左に入手できる時代であり、ブラジルでもトラクタを所有している農業者はめずらしかつた。このような時代に一步先んじてトラクターを買入れたのは、それなりのわけがあつたからである。

その頃、彼の農場はどこでもそうである。だが、労働不足に悩んでいた。耕作面積を増やしたいと思つても、人力と畜力の耕転では、限度があつた。彼は、カシヨエーラ農場に入植した当時初は、はや

「機械化こそブラジル農業のキー、ボイントである。」

こう考えた彼は、早速この実行にのり出したわけである。トラクターを導入した結果はどうであつたろうか、購入して三日もたたないうちに、長男の隆之はす

トカリ運転技術をのみ込んだ。それから今まで六頭立ての牛で引つ張つていた巨木の切り株も、一ペんに引きずつていた。

また、その頃すでに数カ族の日本人の上段へづく

ア農場百四十アルケールが購入された。
一面平坦で機械農業に最適の耕地である。

これと同時に、歩合作農として幼い
いた水木家の長男義男君と、二女久子と
の結婚式があげられ、この若い二人に
ラゴア、フェイア農場の開拓が委ねられ
た。ひきつづいて、翌五十二年には、さ
らに次男利文の結婚式があげられた。

嫁はやはり歩合作に従事して、鳥山家
の三女まさ江さんである。この夫婦もま
た先の二人を追つて、ラゴア、フェイア
農場に行き、昼夜兼行の整地作業に従事
し、植付に収穫に協力して効いた。こう

して事業は発展拡大への一途をたどつた。
五三年にはさらに、米国製大型トラク
タヘ大型110馬力車を購入した。このトラク
タは、五男の義文が操縦した。トラク
タの購入によつて耕作面積は急に殖え、
これと同時に作物の収穫もしだいに殖
えていった。とりわけ棉は、アルケール
当り三百アロバの一アロバは十五キロ
から五百アロバを収穫するといふ好成績
をみた。これは明らかに彼の作物と土壤
愛護の精神を反映したものといえよう。

実際彼は、施肥、消毒には、常に細心
の注意と研究を怠らなかつた。その熱心
な営農が、サンパウロ州農務局の知るところとなり、いろいろの農業指導が行われるようになつた。

五四年、カシヨエーラと、ラゴア、フェイア農場の中間入り口の間にタペロン農場二百四十アルケールを入手するに及んで六百九十アルケールへ、六五〇町歩南十二キロの耕地のすみずみまで、他人の耕地を廻ることなく、トラクター、トラックを縱横無尽に駆使する夢を実現することができた。渡伯以来営々二十几年、幾度か適遇した苦難と試練のあらしに耐えに耐えて、ついにここに金字塔が打ち樹てられたのである。

ついにみたよろごじの開花、それは一家の和合の仲から咲き出した美しい花であった。受達を超えて待つた今日のころこびは、この一家の人々個々の業績をみると、一生懸命に働いてくれた兄ちゃん（徳市）のお蔭だよ」と、かれは声を強めてこういう。いま、肩が組まれてゐるのである。

この農場の今日あるは、十三才の遊びざかりの子供の時から、私の片腕となつて、一生懸命に働いてくれた兄ちゃん（徳市）のお蔭だよ」と、かれは声を強めてこういう。いま、この前田農場発祥地カシヨエーラ農場から西北方五キロの地点にある、サンタ・エリーザ農場百四十アルケールこそ、彼が前田徳市に贈つた贋の耕地である。さ

おしらせ

いよいよ蘭の佳節となりました。



蘭品評会

日時 七月二日

会場 ブルテンテ市

出品希望者は

七月二日、夕方までに

宮崎写真館迄御持参下さい

EXPOSIÇÃO DE ORQUIDEAS

バストス愛蘭会
会長 池田巖

各 位

帰伯御挨拶

私儀

昨年三月国際農会の第三回ブラジル農業実習生として日本へ派遣され、静岡県を振出レに関西地方より東北諸県及び北海道方面の養鷄事情、の視察及び実習をスケジュールの通り隙なく実行し、六月十五日、サントス入港のブラジル丸にて帰伯いたしました。

好期に恵まれ、父母の國、文化日本の表裏から私なりに観察できましたことを大きな収穫として、有難く思つて居ります。此後ともよろしく御指導賜わりますよう、帰伯の御挨拶申上げます。

シマーカラ
信太琢磨
各 位

るラゴア、フェイア耕地百四十アルケルは、次男利えに、そしてカショエーラ耕地百七十アルケルと、タペロン耕地二百四十アルケルは長男隆えに、それらを長男隆えにゆずり、彼は老妻を伴つてイッペラーバ市内に住居を構え、悠久の生活に入つたのである。

二十六、三十年ぶりにみる故郷

一九五六年（昭和三十一）年二月二日、夜のとぼりがようやくおりようとするころ、東京羽田空港にパンアメリカン機が静かに着陸した。とりどりの服装をした外人の客にまじつて、一組の日本人老夫婦がタラップを降りてくる。グレーのダブルのオーバーに金縁眼鏡をかけ、まだかくしよくたる風貌を備えているこの老人は、かたわらの老夫人をいたわりつつ、残雪の点々とする外部の景色を見て、思わずオーバの衿をかき合せながら、感慨無量の面持ちで降り立つた。この老夫婦こそ、今から三十年前、幼い四人の子供を連れて祖国を後にし、遠く南米ブラジルに移住した、前田常左衛門夫妻帰国の姿であつた。ときに彼は六十九才、妻あいさんは五十八才であつた。

一九〇八年ペルーに渡つて以来、外地に留まることが四十二年余、その間、あらゆる苦難と斗い、そして成し遂げた畢生の大理想——艱難はついに彼を玉にしたのである。志成して三十年ぶりに祖国の土を踏む彼の心境は、どんなであつたろう。

第一の故郷は墳墓の地であり、第二の故郷はペルにあり、そして第三の故郷はブラジルにある彼は、おそらくブラジルの土になる決心であろうが、彼を今日あらしめたのは、不撓不屈の精神と、強健な肉体であり、その肉体は、すなわち両親からの賜物である彼は、かつて渡伯を目前にして、神戸で「ハハシス」の計報をうけ、同じ国にいながく、志の前に如何ともすることができず、また、父の死水もとることのできなかつた自分の不幸を思いめぐらして、感に耐えなかつたにちがいない。

「秋芳晃信士」「秋尼妙貞信女」と刻まれた父母の墓石の前に冥目する彼の胸中はどんなだつたろう。歳月は流れ人は去つて、友人知己の大半はすでに歿していった。しかし、三十年前と少しも変わらない姿で彼を迎えてくれたもの、それは故郷の山川であつた。

次兄の弥藏宅に落ちついたかれは、郷土の公民館、学校、市役所などにそれぞれ寄附し、県庁へも挨拶に出向いた。親類知人の家も一軒一軒挨拶廻りをした。

おしらせ

八 植祭

演芸出演者は

七月五日にてメタります

（プログラム作製の都合がありますので、なるべく早く御願いたします。）

申込所 宇佐美宗一
阿部新藏

坂垣寿勢雄
小茂田光明

帰伯御挨拶

去る三月十八日母國訪問

の途に上り、御かけ様にして無事予定の旅行を終了して、去る六月二十一日ビラコッポスに歸着いた。留守中にもかゝわらず、店舗御利用下さいます。

御芳情あつく御礼申上げ

一九七十年六月二十二日

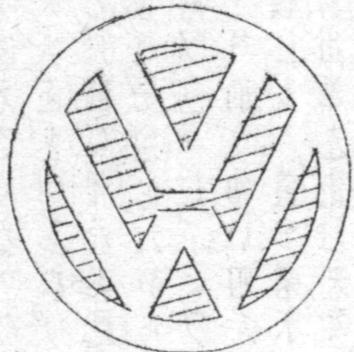
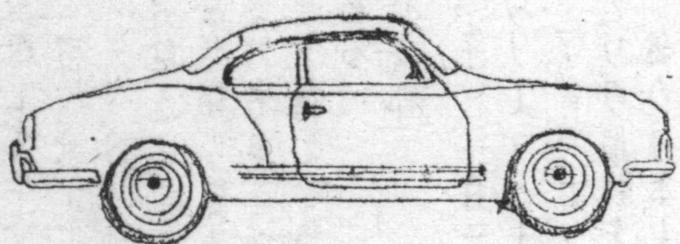
各 位 様

小 茂 田 光 明

CRUZAUTO

Oswaldo Cruz Automoveis ltda.

Conserto em oficina terão desconto de 20% sobre mão de obra Aquisições das peças terão descontos de 10%



クルザウト自動車有限公司

オズワルド クルース市 郵函 156

修理は 20 % の 割引

ペッサは10%の割引

世界の高級車ヴォクスワーゲン

中古車を引取り新車と交換

銀行融資販売の御世致します